

令和元年度
医療連携研修「医療連携2」 報告書

日時 令和元年10月15日(火)午後6時30分から午後9時まで
 場所 八王子市役所 本庁舎 8階 801・802会議室
 講師 陵北病院 院長 田中 裕之 先生
 陵北病院 緩和ケア指導医 沖 陽輔 先生
 内容 アドバンスケアプランニング及び終末期における方の意思決定支援の基礎を学び、実際の終末期のケアマネジメントの実践に活かす
 参加者 高齢者あんしん相談センター職員 20名(10事業所) 居宅介護支援事業所職員 96名(55事業所)
 特別養護老人ホーム職員 7名(6事業所) グループホーム職員 2名(2事業所)
 有料老人ホーム職員 3名(2事業所) 通所介護職員 1名(1事業所)
 合計 129名

研修会終了時 アンケート 結果 (回収数: 154)

● 第1部について

1. 研修全体の内容はいかがでしたか

回答	回答数	率
① 満足	114	89%
② やや満足	11	9%
③ やや不満	2	2%
④ 不満	0	0%
未選択	1	1%
計	128	100%

2. 資料はわかりやすかったですか

回答	回答数	率
① わかりやすかった	108	84%
② ややわかりやすかった	18	14%
③ ややわかりにくかった	2	2%
④ わかりにくかった	0	0%
未選択	0	0%
計	128	100%

それぞれ選んだ理由を記入してください

① わかりやすかった を選択
ACPという言葉が自分の中でたいぶ馴染んできた
暖かい内容であり伝わりました
医療職ではない介護、福祉職の業である生活者支援の視点で整理、理解しやすくなったことから
大きな字で簡単に書かれていてわかりやすかった
簡潔にまとめられていたので
ガン末期の方を担当させていただく度に感じたことを先生が伝わる言葉としてまとめてくださっていた、わかりやすいと思いました

黒に白文字で黒板に書いてあるようで又明瞭でインパクトもありました
さまざまな立場に置き換えたとしても怖さ、不安より安心や楽しみを生み出すことが、特別なことでなくても叶えられることに気づくことが頻回にあった為
素晴らしいDrが八王子に来てくださったと感じた
スライドの中に先生の人生が見えてよかった
説明がわかりやすかったからと思われる
先生の話がわかりやすかった
田中先生、沖先生ともに資料を説明しながら行ってもらったのでわかりやすかった
とても見やすい 本人の意思の尊重についてとても学べた
内容もよくまとまっていたわかりやすかった
ポイントがいくつか絞られていてわかりやすかった
難しいけど
難しい言葉が並ぶこともなく、沖先生が伝えたいことがわかり易くまとめられていたのでとてもよかったです
文字が大きい
文字が大きくて、文章がシンプル
文字数が少なくポイントが絞ってあるため

② ややわかりやすかった を選択
資料の中に白抜きの文字の資料がありメモを取りにくかったです
見やすい

3. 講義内容について理解できましたか

回答	回答数	率
① 理解できた	89	70%
② だいたい理解できた	38	30%
③ あまり理解できなかった	1	1%
④ 理解できなかった	0	0%
未選択	0	0%
計	128	100%

それぞれ選んだ理由を記入してください

① わかりやすかった を選択
「死」をテーマにした講義は重くなりやすいのですが脱線した話が面白くて聞きやすかったです
「地域がホスピスに」そうならいいなと思いつつ、とても身近には感じられなかったけど、沖先生の生き方そのものが、ケアになって(つながって)ゆくと感じ、本当にできると思った
10年前癌で父を送りました 先生の経験、体験からのお話は本当によく理解することができました 温かい気持ちになりました
ACP取り入れるよう望みます
ACPの実践モデルがわかりやすかった(タイミング)メリット、デメリットも理解できました ACPの扉を開けるのはケアマネ
安楽死も難しい問題だと思った
医療に偏っていなかったから
いろいろ親しみやすく話してもらい楽しく聞くことができた
いろんな場面を示されながら目の前にある風景が表れて、その中の講義で心にしみました

家族の立場で看取ったこともあり、時々、いやふとした時に湧くモヤモヤの整理や間違えがないと痛感することができ、理屈抜きにすっきりした為
簡潔だった
緩和ケアとは…本人が何を大切にしたいか等まとめていくことが大切
緩和ケアの意見について考えることができました
緩和ケアを実践されている先生のお話なのでとても心にしみました
ケアマネジャーのACPへの導き支援の過程でACPのプロセスを進める
雑談を交えながらの講義が楽しく頭に入ってきやすかった
事例がわかり易く緊張感なく参加できました
先生の思いが伝わってきました
先生の人柄がにじみ出ている
体験談がふんだんに話され親しみやすかった この先生ならホスピスで自分をお任せしてもいいかなと思いました
楽しく聞くことができ緩和ケアのことを再考することができました
地域がホスピスになる時代を迎えるために体制を整備していく必要があります
父も兄もホスピスに入りました 最終的には父は地域の病院で亡くなり、兄は緩和病棟で亡くなりました 私は病気がわかったら治療はせずに亡くなりたいと思ってる 家でもなく、病院でもなく、ではどこで？今、考え中です
できたと思いたいです
とても深い内容でしたが、勉強になりました (ACP)
とてもわかり易く良い話でした
長く担当している利用者が死に至っていくプロセスをプロとして最期まで伴走していけたらいいです
話し方が素晴らしかった わかりやすかった
話が入ってきやすく心地よく聞けた
話のテンポがよく、先生の体験からの話もあり興味深く聞くことができた
仏教や沖先生の個人的なお話が盛り込まれていたため ぐだいて話して下さったので楽しく聞けました
末期がんで痛みを取って最期を迎える場所はホスピスだという考えが頭の大部分を占めていましたが地域がホスピスになっていく時代だということがよくわかりました
わかりやすい納得できる講義でした

② ややわかりやすかった を選択
ACPについては難しかった
駆け足での講義だったと思うのでもう少し長く時間をとってほしかったです でもとても満足の講義でした
説明が上手い
先生の説明がわかりやすかった
ホスピス、生きる意義の大切さは何か？について考えることができた
難しい問題であると思うのですが先生の説明も丁寧で理解することができました
もっと聞きたくなった

● 第2部について

4. 研修全体の内容はいかがでしたか

回答	回答数	率
① 満足	107	84%
② やや満足	19	15%
③ やや不満	0	0%
④ 不満	0	0%
未選択	2	2%
計	128	100%

5. 資料はわかりやすかったですか

回答	回答数	率
① わかりやすかった	99	77%
② ややわかりやすかった	28	22%
③ ややわかりにくかった	0	0%
④ わかりにくかった	0	0%
未選択	1	1%
計	128	100%

それぞれ選んだ理由を記入してください

① わかりやすかった を選択
「何を大切にしたいか」子供さんの話を通してわかり易く説明してくれました 苦を乗り越える自己肯定感理解できました
ACPの意味、意義、考え方について
ACP難しい でもケアマネとしてACPやってる 「あなたはどこで最期を迎えようと考えますか」と利用者に聞くことにしている 家族にも聞いている
簡潔に説明していたから
簡潔明瞭でわかりやすかった
具体的でよかった
写真や見やすくなっていた
図が多く理解しやすい
僧医によるスピリチュアルな健和ケア、魂の救済が素晴らしいと思った
当事者に寄り添った支援がとても大切だと感じる
話の内容の範囲が広がったですが、わかりやすい内容でした
ポイントがまとめられていてわかりやすかった
明確な言葉で見やすく理解しやすかった
例を出して教えていただいていたのでわかりやすかった ACPの話2. 3回目ですがやっと少しわかるようになった
連携、協働する医療者側の立ち位置、役割知っておきたいことがまとまっていた

② ややわかりやすかった を選択
ACPについてわかりにくかった
ACPの馴染みがなかった
言語集など盛り込んでくださり難しい内容ですが参考にしていきます
早過ぎて考えていられない

見やすい

6. 講義内容について理解できましたか

回答	回答数	率
① 理解できた	63	49%
② だいたい理解できた	62	48%
③ あまり理解できなかった	1	1%
④ 理解できなかった	0	0%
未選択	2	2%
計	128	100%

それぞれ選んだ理由を記入してください

① わかりやすかった を選択
2回目ですが、医療倫理の4原則はなかなか難しい 論理的な考え方ができる人ばかりでなく、「直感」を大事にする人も多いチームでカンファレンスをして、合意ができると良いなあと思います かかりつけ医はまだまだそういった話をしてくれませんが、これからだと思います 相手、当事者の倫理を考えて相手の立場に立つことが大事だとよくわかった
医学の知識を平らな言葉で私たちが理解できるように講義してくださりありがとうございます
具体的に話してくれた(一般人向けにしてくれている)
こなれた内容でした
先生の話は難しい でもドクターたちに先に伝えてほしい 田中先生のような強さはドクター達にあるのかな
ターミナルケア後のグリーフケアについてタイミングや方法など
田中先生は2度目で、再確認できました
適切な話し方で理解しやすかった
とてもすっきりと理解することができた
とてもわかりやすかった 先生の思いも伝わってきてよかった
とてもわかりやすかったです ACPの理解が深まった
話がとても引き付けられました 実際の話が聞けたのでとてもよかった 時間が無くなってしまったのが残念です
四分割の考え方道具(もやもやを整理する)有効かと
倫理基準と行動規範を最近意識するようになった 多職種連携に協働するにあたり、介護福祉職に欠けている視点と自覚していたので改めて意識できました

② ややわかりやすかった を選択
2回目だった
ACPが話し合いのプロセスでADがLWを含むことが理解できた 倫理的に考えることが必要
ACPについて理解できた
ACPの意味が何となくわかった
あまり考えたことがなかったので大体しか理解できなかった
沖先生の講義はわかりやすかった
駆け足だったのが残念でした 時間がなくて
昨年同様とても参考になりました
少しペースが早くて難しかった
スピードに頭が働かなかった

先生が早口で、理解する前に次のテーマに移ったのでもう少し時間があればゆっくり聞きたかった
先生の説明がわかりやすかった
とてもいい講義内容でしたのでもっと時間をたっぷりとってほしかった
とても内容にボリュームがあり、ついていくのが大変でした でも面白かったです
早口で難しい話だったので、頭の中の整理がなかなかできなかった 最後はよくわかりました 早過ぎて整理できない
まだ理解できてない部分もあり今後仕事の中で振り返り理解できるのではと思う
難しいテーマで内容も濃いものでしたが、先生の熱意が伝わってきました 先日読み返した「安楽病棟」のストーリーが意味深く感じられました
難しい内容だったが
難しい内容をわかり易く説明していただきありがとうございました
難しかった
難しかったが考え方の回路を変えて考えることを学んだ 安楽死についても基本的なことを知ることができた
もっと知りたい、やはりもやもやする事がある
利用者に対してACPを投げかけるには時間がかかる
倫理についての再確認しました
若くしてがんの病であれば説明もよく理解できる 80歳以上の親の生命が一年以内になくなると生物学として理解している 施設は多数であるが自分の親になると理解が進まないことが多い

無選択
説明がとてもわかりやすかった ACPについてよく理解して利用者に伝える必要性を感じました

7. 今後受けてみたい研修のテーマがありましたらお書きください

「怨憎会苦」四苦八苦に対応するための手段、アンガーマネジメント
ACPについてもっと知りたかった
ACPをもう一步踏み込んだ研修
沖先生、単独で1講義お願いします 田中先生もわかり易く1講義で 災害時の対応
実際迷っているケースで(事例)皆で(できれば多職種で)話し合ってみたいです
司法、ソーシャルワークの概要(知っておくだけでも有益な知識)
事例、加算の使い方
田中先生のACPだけでゆっくりお話を聞かせていただき深めて実践につなげたい
とても重要な件で
認知症患者の家族ケアについて
毎年繰り返しの研修はやめてほしい
看取り
もう一度倫理について受けたい
リハビリの事例(グループワークでない)
臨床倫理をもう少し深いところまで話を伺いたかったです

8. その他ご意見等、ご自由にお書きください

(田中先生へ)ACPのタイミングやきっかけもケアチーム内で5W1Hを検討することだと思っていますが、医師へはなかなかアプローチしにくいです 数井先生や松本先生でさえ悩む 때가時々あります
ACP、スピリチュアルケア少し理解できた
沖先生には母が大変お世話になりました 7年前に日の出が丘ホスピスにてしあわせな中旅立ちました 今日お会いできたのもご縁と思いますありがとうございました
興味深くお話を伺うことができました
先生のお話、とてもわかり易くお人柄もわかって楽しかったです
田中先生、沖先生ありがとうございました 陵北病院とお近づきになりたいと思いました
楽しかったです ありがとうございました
とても貴重な時間でした
入院したらケアマネとして終了ではなく、それまで在宅でも関わってきたのだから最期までと日々感じながら業務しています 今日の講義はそんな自分の悩みの答えの一つになるのかと感じました
人間味あふれるお話 又ご家族、ご自分のこともわかり易く伝えて1時間あっという間でした 縁を大事に地域の連携を取って仕事に励みたい
認知症の方は日々ニーズが変わりますが、それを文書化し署名してくださいとはなかなか難しいと思います 日々の記録の量と質が課題です
二人の先生の話に共通点があり、理解しておかなければならない事が少し見えてきたように思いました
もっと時間をかけゆっくり聞きたい
もっと早い時間から始めて欲しい もっと時間をかけてほしい 早口でわからない時がある 時間内に終わらせて欲しい
夜ばかりでなく昼に研修をしてください

